

環境プログラム無償—バングラデシュ

ごみ収集車の維持管理技術の向上を目指して

ワークショップ・工具・技術移転の有機的な調達

現在、バングラデシュの首都ダッカにおいて、環境プログラム無償の第1号案件である「ダッカ市廃棄物管理低炭素化転換計画」が進められています。本案件では、同市のごみ問題改善に必要な機材・役務を調達することになり、JICSは同市と調達代理契約を締結し、全体のマネジメントを実施しています。

この計画内容は、温室効果ガスの削減に資する圧縮天然ガス(CNG: Compressed Natural Gas)を燃料とする車種(45台)を含むごみ収集車100台の調達、収集車の維持管理などを行うワークショップの建設、3名の専門家派遣(環境教育・車両の維持管理・CNG取扱い)です。

2010年8月、ワークショップの建設工事が終了しました。建設にあつ

ては、敷地内の既存の木を残し、建物の構造については極力、自然光を採り入れられるような形にするなど、環境プログラム無償であることを意識した設計としました。また、車両整備に必要な工具なども併せて納入し、引渡し後、ダッカ市側が直ちに実務に入れるよう配慮した計画内容となっています。翌9月、これらの工具などが到着し、納品・検査作業が完了し、ダッカ市役所へ正式にワークショップが引渡されます。

3人の専門家は、同月までにそのほとんどの作業を完了しました。車両の修理・維持管理については、車両整備士やごみ収集車の運転手に対し、技術を繰り返し教え、離任時には現地語であるベンガル語のマニュアルも残してきました。また、環境教育

については、ダッカ市民の環境問題に対する意識を高めることを目的に、地球温暖化防止に関するステッカーをコンテストで選定したり、温暖化と天然ガス車両の関係が漫画でわかりやすく表現されたポスター作成などを行いました。

当初、予定していた計画内容がほぼ達成されつつあり、現在、最終段階に差し掛かっています。今後は、今回、調達した収集車やワークショップが効果的かつ継続的に活用され、その効果が持続する取組みを引き続き検討していきます。



▲ 完成したワークショップ

NGO 紹介

このコーナーでは、これまでにJICSが支援した団体より、事業実施状況について報告していただきます。

女性のおしゃべりパワーで、津波移転地区の衛生環境を高める

【(特活)アプカス】 APCAS: Action for Peace, Capability and Sustainability

2004年12月に発生した、スマトラ沖大津波による大災害。当会は、この大災害によるスリランカの被災者を緊急支援する目的で結成され、歩み始めました。言わば、我々の活動の原点となる出来事です。

「被災から3年以上が経過し、浜辺に暮らしていた人々が内陸部の移転地区に移り、新たなコミュニティを形成していく状況で、我々のような小さなNGOにできることは何だろうか?」その問いを胸に住民へのヒアリングを重ねていくと、生ごみ投棄や、そこから発生する悪臭・ハエなどの衛生環境の問題が、明らかになってきました。

このようななか、JICSから支援を受け、2009年2月からスリランカ南部州マータラ県のミリス津波移転住宅地で、「ごみの減量」と「家庭菜園」をキーワードにプロジェクトを始動させました。

今回の主役は、一家の台所を預かる女性の皆さん。同年4月には、オクラ・ナス・ピーマン・トマトなど、日本でもおなじみの野菜

の種を配布し、家庭菜園がスタート。併せて、設置したコンポスト(生ごみから堆肥をつくる装置)でつくった有機肥料を上手に使うために、女性スタッフが定期的に各世帯を訪問。紅茶片手の井戸端会議をあちらこちらの庭で不定期に開催し、女性のおしゃべりパワー(!!)を最大限に利用して、アイデアの共有や栽培技術の向上とともに地域のつながりを深めていきました。また、ごみ分別では子どもたちが活躍。キャラクターの絵が描かれた分別用の麻袋にごみを捨てる役割を果たしてくれました。女性・子どものやる気に押された(!?)男性たちも共有地の清掃などに参加し、コミュニティ全体の衛生環境を高めるためにできることは何かをみんなでも共に考え、実行に移すことができました。

プロジェクト終了後の今でも、たまに現地に住みませんが、多くの住民の方が家庭菜園を続けています。その光景を見ると、大津波が少しだけ昔に感じる自分たちに気付くのです。



▲ 女性スタッフが各世帯を訪問

(特活)アプカス

「対話・自立・持続」をキーワードにすべての人々が、共に歩むことができる社会の実現を目指し、スリランカで災害復興支援、子ども教育支援、環境保全、持続可能な農業の普及、栄養改善、生計向上などの活動を現地NGOと共にしています。http://www.apcas.jp.org/

JICS NGO 支援事業: 2008年度

対象国: スリランカ  
支援事業の内容: スマトラ沖大地震津波被害による住居環境の変化で発生した、衛生環境に関する問題の改善を目指す。具体的には、コンポストを設置し、家庭菜園に利用することで生ごみの削減を図る。